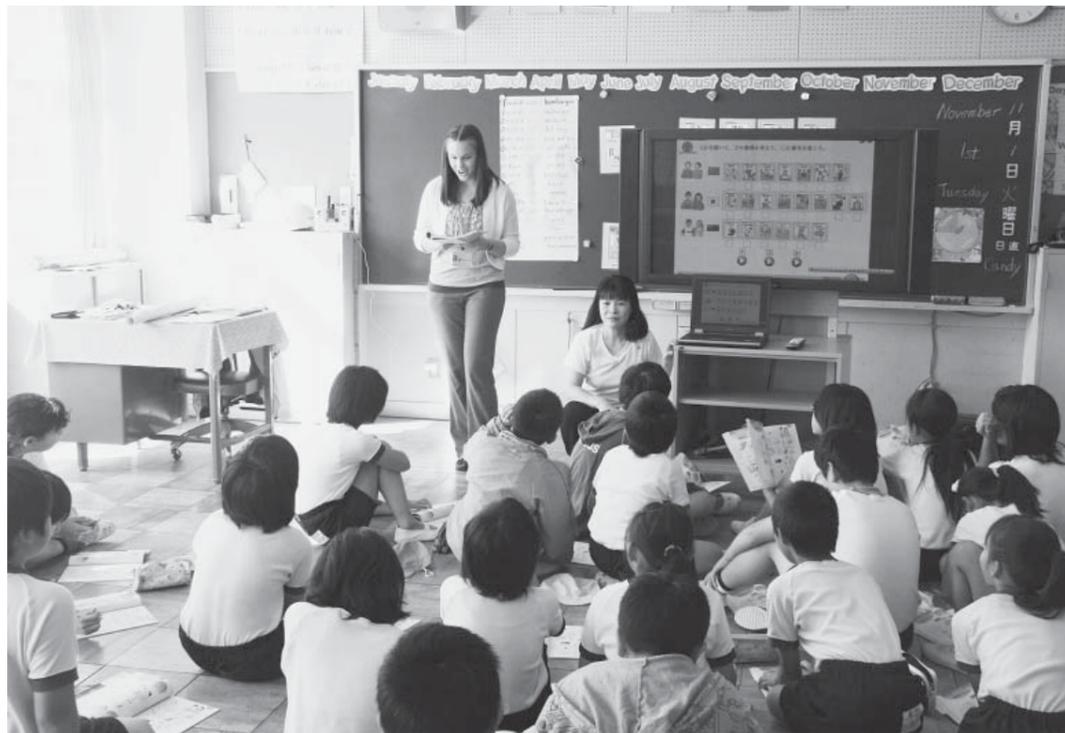


発行 / 富里市議会
 発行責任者 / 富里市議会議長
 編集 / とみさと議会報編集特別委員会
 発行日 / 平成 24 年 5 月 1 日
 住所 / 〒 286-0292 富里市七栄 652-1
 TEL 0476-93-6492 FAX 0476-91-3595

平成 24 年度 当初予算など 33 議案を可決、同意

一般会計 145 億 5,300 万円 特別会計 87 億 40 万円 水道事業会計 13 億 110 万円



コンコルディア大学実習生による英語授業風景 (平成 23 年度)

3 月定例会は、2 月 21 日から始まり、3 月 16 日まで 25 日間の会期で開かれました。
 市長から、平成 24 年度一般会計予算、各特別会計予算の当初予算をはじめ、富里市名誉市民条例の制定など、議案三二件、同意一件が提出され、それぞれ原案どおり可決、同意しました。
 また、一般質問は二会派の代表から会派代表質問が、個人質問は八人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

- 公共交通機関推進事業**
 市民の生活利便性の維持・向上のため、現行のさとバスの運行形態の見直しや新公共交通体系の導入などを含め、平成 25 年度に予定する実証運行に向け、地域の実情に合った公共交通計画を策定する。
 【三八〇万円】
- 子ども医療費助成事業**
 小学校六年生まで
 対象としていた医療費の助成を平成 24 年 4 月診療分より中学校三年生まで拡充する。
 【一億四、五六〇万円】
- ファミリーサポートセンター事業**
 子育てを手助けしてほしい人と手助けできる人の会員組織を設立し、相互援助活動に関するコーディネート、アドバイス等を行い、仕事と子育てを両立しやすい環境づくりを推進する。
 【三四八万円】
- 地球温暖化対策事業**
 住宅用太陽光発電システム設置に対し補助金を交付するほか、地球温暖化防止対策の啓発活動を行う。
 【一、〇二五万円】
- 学校給食センター施設統合事業**
 老朽化が進む二カ所の調理場を統合して改築を行うため、測量、地質調査を行うほか、用地先行取得する手続きを行い、平成 26 年度の工事着工を目指す。
 【九〇八万円】
- 英語教育推進事業**
 A L T や英語指導補助員を配置し、小・中学校の英語教育を推進する。また、本

平成 24 年度予算から (金額は表示単位未満四捨五入)

議会の動き	
2月21日 ◎開会	2月29日～3月5日 ◇予算審査特別委員会
◎同意第一号 説明・質疑・討論・採決	3月7日 ◇総務建設常任委員会
◎議案第一～三十一号 説明	3月8日 ◇議会改革特別委員会
◎一般質問(代表二人)	3月9日 ◇文教厚生常任委員会
2月23日 ◎一般質問(個人三人)	3月16日 ◎議案第一～三十一号 委員 長報告・質疑・討論・採決
◎議案第一号 質疑・予算 審査特別委員会設置・同 委員会付託	◎議案第三二号 質疑・委 員会付託
2月24日 ◎一般質問(個人三人)	◇文教厚生常任委員会 報告・質疑・討論・採決
2月27日 ◎一般質問(個人二人)	◎議案第三二号 委員長報 告・質疑・討論・採決
◎議案第二～三十一号 質 疑・委員会付託	◎閉会

- 放課後児童健全育成施設整備事業**
 学童クラブ施設を新しく富里第一小学校と浩養小学校に整備し、放課後児童健全育成の充実を図る。
 【五、一三〇万円】
- 市制施行一〇周年記念事業**
 平成 24 年 4 月 1 日に市制施行 10 周年を迎えるに当たり、記念式典をはじめ、プレミアム付商品券発行に対する補助など各種事業を実施する。
 なお、議場では、子ども議会や議場コンサートの開催を予定している。
 【七九五万円】



【一、四九九万円】

3月定例会の議案と議決結果		付託委員会	結果	市民クラブ										公明党			無党派				賛成	反対	
				岡野耕平	田口勝一	戸村喜一郎	原清一	鈴木英吉	高橋益枝	猪狩一郎	栗原恒治	佐藤繁夫	大川原きみ子	布川好夫	江原利勝	五十嵐博文	井上康	高橋祐子	窪田優	櫻井優好			柏崎のり子
議案番号	件名																						
市長提出議案																							
同意第1号	副市長の選任につき同意を求めることについて	—	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	16	1	
議案第1号	平成24年度富里市一般会計予算	予算	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	15	1	
議案第2号	平成24年度富里市国民健康保険特別会計予算	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第3号	平成24年度富里市下水道事業特別会計予算	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第4号	平成24年度富里市介護保険特別会計予算	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第5号	平成24年度富里市後期高齢者医療特別会計予算	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第6号	平成24年度富里市水道事業会計予算	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第7号	富里市名誉市民条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	15	1	
議案第8号	富里市暴力団排除条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第9号	富里市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第10号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	15	1	
議案第11号	富里市長及び副市長並びに教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第12号	富里市職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第13号	富里市税条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第14号	富里市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第15号	富里市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第16号	富里市土地地区画整理事業施行地区内における建築行為等の許可に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第17号	成田市計画事業七栄南新木戸土地地区画整理事業施行に関する条例を廃止する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第18号	富里市消防長の任命資格を定める条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第19号	富里市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第20号	富里市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第21号	富里市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第22号	富里市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第23号	富里市道路線の認定について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第24号	富里市道路線の変更について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第25号	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第26号	平成23年度富里市一般会計補正予算（第6号）	総務 文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第27号	平成23年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第28号	平成23年度富里市下水道事業特別会計補正予算（第5号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第29号	平成23年度富里市介護保険特別会計補正予算（第3号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第30号	平成23年度富里市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第31号	平成23年度富里市水道事業会計補正予算（第2号）	総務	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	
議案第32号	富里市保育の実施に要する費用の徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定について	文教	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	16	0	

議案の内容

- 同意 1** 副市長の石橋 規氏が平成24年3月31日をもって任期満了となるため、同氏を再度選任するもの
- 議案 1～6** 予算審査特別委員会委員長報告に掲載
- 議案 7** 名誉市民を顕彰するため、条例を制定するもの
- 議案 8** 社会全体としての暴力団排除を推進し、市民の平穏な生活及び事業活動の健全な発展に寄与するため、条例を制定するもの
- 議案 9** 地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、引用している条文にずれが生じたため、所要の改正を行うもの
- 議案 10** 名誉市民選考委員会委員、生活保護面接相談員及び生活保護就労支援員の報酬額を新たに定めるなど所要の改正を行うもの
- 議案 11** 本市の財政状況などを総合的に勘案し、市長及び副市長並びに教育長の期末手当の減額期間の延長など所要の改正を行うもの
- 議案 12** 人事院及び千葉県人事委員会の勧告にかんがみ、平成18年4月から実施された給与構造改革に伴う経過措置額を平成25年4月1日から廃止するもの
- 議案 13～22** 国等の上位法令の改正によるものや、その他運営上必要とされる条例等の改正。また、事業が終了したことによる条例の廃止
- 議案 23** 七栄北新木戸土地地区画整理事業の道路整備に伴い、道路1路線を認定するもの
- 議案 24** 七栄北新木戸土地地区画整理事業及び開発行為の道路整備に伴い、市道の路線を延長し終点を変更しようとするもの（市道01-024号線ほか2路線）
- 議案 25** 組織団体である銚子市及び松戸市から、共同処理する事務の追加依頼があったため、規約の一部を改正することについて協議するもの
- 議案 26** 歳入歳出それぞれ4億1,721万2千円を減額し、総額を150億3,153万3千円とするもの
- 議案 27** 歳入歳出それぞれ1,094万7千円を減額し、総額を55億4,094万2千円とするもの
- 議案 28** 歳入歳出それぞれ1,806万8千円を減額し、総額を7億1,014万6千円とするもの
- 議案 29** 歳入歳出それぞれ7,358万9千円を減額し、総額を17億7,876万3千円とするもの
- 議案 30** 歳入歳出それぞれ581万2千円を増額し、総額を2億3,666万2千円とするもの
- 議案 31** 収益的収支として水道事業収益を1,030万7千円増額、水道事業費用を369万3千円増額、資本金的収支として資本金収入を777万7千円減額するもの
- 議案 32** 年齢16歳未満の一般扶養控除等の廃止による所得税額の増加が保育料の上昇に影響しないよう保育料の算定に特例措置を講ずるもの

予算審査特別委員会 委員長報告

委員長 原 清一

平成24年度富里市一般会計予算について、四日間にわたり、「総括・総務関係」、「健康福祉・環境関係」、「教育委員会関係」、「市民経済・都市建設関係」について、慎重に審査を行いました。

以下、審査の経過と結果についてご報告いたします。

はじめに、「総括説明」を受けました。

平成24年度当初予算は、歳入歳出それぞれ一四五億五、三〇〇万円。前年度比三・五％の減。

予算の編成に当たっては、「平成24年度予算編成方針」に基づき、「総合計画の推進」、「協働のまちづくり」、「行政改革の取り組み」を基本方針として、行政組織別予算制度により予算の編成を行い、各部課等の長の強力なマネジメントのもと、部局間又は部等内各課の横断的かつ柔軟な検討を実施し、市民の真のニーズを把握した上で、厳しい事業選択や創意工夫により最少の経費で最大の効果をあげ、施策目標の達成に努めるべく編成を行ったことでした。

【市税】
固定資産の評価替えによる減収を見込んだが、年少扶養控除の廃止やたばこ税等で増収が見込まれることで、全体では前年度比〇・二％減の五六億五、九三三万一、〇〇〇円。

【地方譲与税】
地方揮発油譲与税は微増、自動車重量譲与税の減により、全体では前年度比一三・二％減の一億六、三〇〇万一、〇〇〇円。

【各交付金】
地方消費税交付金、地方特例交付金の減などにより、前年度比八・四％減の五億八、〇五〇万円。

【国庫交付税】
国の平成24年度地方財政への対応方針及びこれまでの交付実績などと併せて推計し、普通交付税一五億一、八〇〇万円、特別交付税一億円を見込み、全体では前年度比五・三％増の二六億一、八〇〇万円。

【国庫支出金】
事業量の増大に伴う生活保護費負担金及び社会資本整備総合交付金の増並びに一般財源化に伴う次世代育成支援交付金の減などにより、全体では前年度比一・一％増の一九億八、二〇二万二、〇〇〇円。

【県支出金】
学童クラブの整備に伴う児童厚生施設等整備費補助金の増、千葉県地域グリーンニューデール基金事業補助金の減などにより、全体では前年度比二・七％増の八億三、八四二、〇〇〇円。

【繰入金】
前年度比二二・二％減の六億九、七二五万六、〇〇〇円。

【市債】
一般廃棄物処理施設整備事業債、地方特定道路整備事業債など、市債全体では前年度比一六・六％減の二一億六、四〇〇万円。

【議会費】
議員定数の減及び議員共済費負担金の減などにより前年度比二〇・九％減の一億八、六六九万一、〇〇〇円。

【総務費】
空調設備改修に伴い庁舎管理事業の増はあるものの、防災無線事業、各種選挙関係経費の減などにより、全体では前年度比四・五％減の一七億九、三六〇万七、〇〇〇円。

【民生費】
子ども医療費助成事業を衛生費から移行したことによる増、生活保護事業、学童施設の整備により放課後児童健全育成施設整備事業の増などにより、全体では前年度比三・九％増の四六億四、七四二万七、〇〇〇円。

【衛生費】
ごみ処理施設建設事業、廃棄物処理施設等維持管理事業の減などにより、全体では前年度比二・九％減の二〇億四、七五三万四、〇〇〇円。

【農林水産業費】
県営畑地帯総合整備事業の一部を国の平成23年度第4号補正により前倒ししたことなどにより前年度比三・七％減の二億八、二六九万四、〇〇〇円。

【商工費】
企業誘致事業の増などにより、前年度比三〇・三％増の一億四、二〇八万八、〇〇〇円。

【土木費】
成田財特路線整備事業、道路改良事業、下水道整備繰出事業の増などにより、全体では前年度比七・三％増の一九億三、二四九万七、〇〇〇円。

【教育費】
常備消防車両整備事業の減、共同運用消防指令センター整備事業の増などにより全体では前年度比一・八％減の九億二、五五〇万三、〇〇〇円。

【教育費】
幼稚園施設維持管理事業、小学校教育振興事業、中学校施設維持管理事業の減などにより、全体では前年度比六・〇％減の一四億五、五〇七万四、〇〇〇円。

【公債費】
前年度比四・〇％減の一億八、一六万一、〇〇〇円。

【予備費】
前年度同額の三、〇〇〇万円。

【質疑について】
各委員から、多岐にわたる質疑等がありましたが、ここでは、意見・要望のありました何点かについて申し上げます。

総務関係
・ 特長ある富里市のため、総合計画の成果とこれからの見通しをたてた予算編成をされたい。
・ 職員研修については、女性職員も安心して研修に参加できるように配慮されたい。また、研修に参加した職員が他の職員に研修できるような体制づくりに努められたい。
・ 投票率向上のため、投票入場券を一人一枚にするよう検討されたい。

健康福祉・環境関係
・ 外部委託については、資格を持った職員による組織を超えた協力体制をつくることにより、委託料を減らすなど経費の削減を図られたい。

【民生費】
新清掃工場の稼働に伴い、ごみ集積所設置の推進と市民への周知を図られたい。
・ 現クリーンセンターの跡地利用については、周辺地域との経緯を踏まえ、十分検討されたい。

【教育委員会関係】
・ 安全確保の観点から小学校内の高木の剪定を推進されたい。
・ 芸術鑑賞事業については、市内芸術家の作品展示についても検討されたい。
・ 社会体育館の祝日開放を検討されたい。
・ 公民館・図書館の清掃委託を一本化するなど経費の削減を図られたい。

【市民経済・都市建設関係】
・ 中部ふれあいセンターのバリアフリー化を検討されたい。
・ 男女共同参画について、市民の認識をより深められるよう、共同参画コーナーなどの整備を検討されたい。

最後に、執行部には、審査を通じて出された数多くの議論や意見を真摯に受けとめ、平成24年度の市政運営に当たられるよう強く要望いたしました。予算審査特別委員会の審査報告いたします。

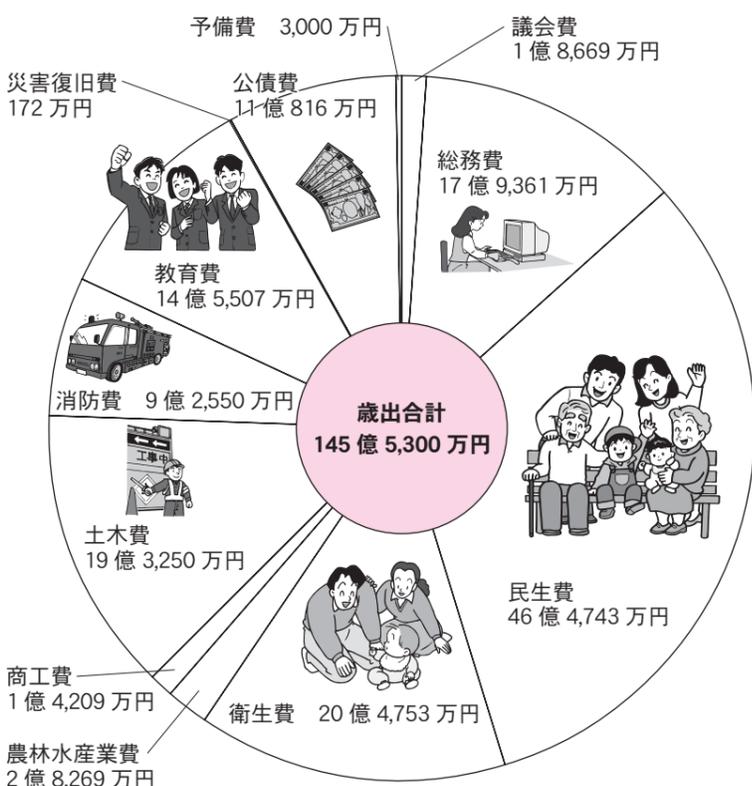
以上、四日間にわたる真剣な質疑応答が終了し、採決の結果、議案第1号 平成24年度富里市一般会計予算は、賛成多数にて、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

平成24年度当初予算

会計	当初予算額	対前年度比較
一般会計	145億 5,300万円	3.5%減
特別会計		
国民健康保険特別会計	57億 6,914万円	5.8%増
下水道事業特別会計	7億 2,735万円	4.2%増
介護保険特別会計	19億 5,169万円	8.7%増
後期高齢者医療特別会計	2億 5,223万円	10.4%増
企業会計		
水道事業会計	13億 110万円	3.8%増

・ 市民が利用しやすい家庭児童相談室の整備に配慮されたい。
・ 富里南小学校学童クラブの拡充について検討されたい。

平成24年度一般会計 (表示単位未満四捨五入)



・ 市民経済・都市建設関係
・ 中部ふれあいセンターのバリアフリー化を検討されたい。
・ 男女共同参画について、市民の認識をより深められるよう、共同参画コーナーなどの整備を検討されたい。

・ 市民経済・都市建設関係
・ 中部ふれあいセンターのバリアフリー化を検討されたい。
・ 男女共同参画について、市民の認識をより深められるよう、共同参画コーナーなどの整備を検討されたい。

常任委員会の 審議から

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会は、付託された議案二一件について、慎重に審査しました。主な議案質疑について報告いたします。

平成24年度下水道事業特別会計について、下水道債の借りかえは検討したのかとの質疑があり、以前に検討したが、残高が少ないことや、借りることができない物件が出ることから借りかえはしない結論に至ったとの説明がありました。

暴力団排除条例の制定について、暴力団の構成員、関係者であるかどうかの判断はどうするかとの質疑があり、個々具体的な事例をもって警察に照会をするとのことでした。

土地区画整理事業施行地区内における建築行為等の許可に関する条例の一部を改正する条例の制定について、施行者、許可権者が市長という形で存在することになるが、問題はないかとの質疑に、特に問題は生じてこないと思われるとのことでした。

道路線の変更について、市道四一〇一七五号線について、学生が多く通る成田両国線の入り口付近の交通安全対策は十分かとの質疑に、危険な状態が続くようであれば検討していきたいとのことでした。

平成23年度一般会計補正予算(第六号)、議会研修事業、費用弁償の減額についての質疑があり、議員定数が二〇名から一八名に減ったことなどの説明でした。情報システム管理事業、ウイルス対策事務業務委託料の減額についての質疑があり、再委託期間を一年間と見込んでいたが、半年にしたいとの申し出があり減額したとのことでした。

採決の結果、付託された全ての議案は、賛成全員にて可決しました。

(委員長 布川好夫)

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、付託された議案一件について、慎重に審査しました。主な議案質疑について報告いたします。

平成24年度国民健康保険特別会計予算について保険給付費抑制の質疑で、後発医薬品の推奨と保健指導などで予防に努め、医療費の抑制につなげていければとの説明でした。

平成24年度後期高齢者医療特別会計予算では保険料を滞納した場合の保険証の扱いについて質疑があり短期保険証の発行など、一般の被保険者と同様の扱いになるとの説明でした。

平成23年度一般会計補正予算(第六号)について、質疑では、はり・きゅう・マッサージ等施設利用助成金では当初の見込み七〇〇〇枚から八、〇〇〇枚と利用がふえることから増額し今後助成額の引き下げもあるとの説明でした。

介護保険条例の一部を改正する条例の制定については、第三段階に新たに軽減措置を講じ低所得者に配慮し一〇段階区分の改正で条例改正するとの説明でした。

採決の結果、付託された全ての議案は賛成全員にて可決しました。

(委員長 佐藤繁夫)

一般質問

質の
は身よ
文による
本者稿の
※問原も

通告項目(会派代表)

市民クラブ

- (1) 施政方針について
- (2) 平成24年度予算について

公明党

- (1) 平成24年度施政方針について
- (2) 平成24年度予算について

通告項目(個人)

大川原きみ子

- (1) 市民生活に密着した公共交通網について
- (2) 教育行政について
- (3) 健康・福祉について
- (4) 市民経済環境について

佐藤繁夫

- (1) 国保問題
- (2) 防災問題
- (3) 教育問題
- (4) 福祉問題

高橋益枝

- (1) 環境について
- (2) 空き家管理対策について
- (3) 農業について
- (4) 観光について

柏崎のり子

- (1) 保育制度について
- (2) 市内事業者の撤退について

井上康

- (1) 職員退職金の扱いについて
- (2) 福祉政策について
- (3) システム障害にかかわるリスク・マネジメントについて
- (4) 京成成田駅東口、エレベーター設置について

五十嵐博文

- (1) 協働のまちづくりについて
- (2) 都市計画について
- (3) 給食センターについて
- (4) 平成23年一般質問の現状と今後について

高橋祐子

- (1) 教育について
- (2) 保健衛生行政について
- (3) 検討事項の経過について

窪田優

- (1) 国民健康保険について
- (2) 介護保険について
- (3) 小・中学校学習指導要領の全面实施、課題の有無について
- (4) 小・中学校連携について
- (5) 学校給食について

市民クラブ

鈴木英吉

問 施政方針について



答 新「総合計画」に基づき市政運営に努めます

問 市長の政治姿勢について。

答 特に新保健センターの整備や学校給食センターの統合事業は平成26年度を目指して取り組み、市民ニーズを的確に把握し住民満足度が向上するように図ります。行政経営について。

問 厳しい財政状況の中、自主財源を確保するために経営理念の構築と実現のための実行力が求められます。そのためには組織の充実として職員の意識の改革を行政経営の重点目標として取り組みます。問 産業の活性化について。

答 農業部門はすいのかの里生産支援事業による産地の維持や環境保全型農業支援対策事業への取組等各種事業を進めます。商業部門についてはプレミアム付商品券発行への補助や街路灯のLED化の補助など商工会や商店会と連携を図ります。工業部門については企業立地奨励金及び雇用促進奨励金等の制度を継続します。問 少子高齢化について。

答 子育て支援施策として子ども医療費の助成を中学校三年生まで拡充、学童クラブの施設整備、ファミリーサポートセンター事業の実施、高齢者をはじめ交通弱者の市内公共交通体系の見直しをします。問 資産運用について。

答 市有地の積極的な売却、貸付を行い効率的な管理手法を調査、研究します。『平成24年度予算について』問 主力事業について。

答 幹線市道及び生活道路の改良工事、子ども医療費の助成、生活保護の適正化等また旧岩崎別邸の基礎資料を作成します。

公明党

布川好夫

問 平成24年度施政方針の行政改革について



答 行政効率化・生産性向上・財源確保を図ります

『平成24年度予算について』問 以前から会派で要望してまいりました、子ども医療費助成を中学三年生まで拡充され、会派として大変評価しています。その他の予算要望について伺います。総務部関係について。

答 公共交通の充実とデマンド交通網の実施について、本市の実情に最適な運行形態かを十分検証します。市制施行一〇周年に向けては市民への周知を実施いたします。問 市民経済環境部関係について。

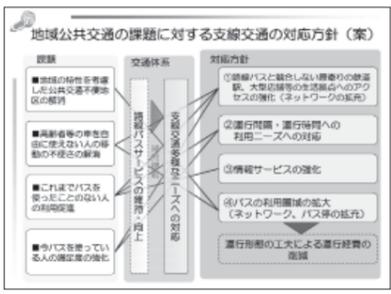
答 住宅用太陽光発電システム設置費補助金を予算計上しました。プレミアム付商品券発行事業に対して、事業補助金を予算計上しました。防災情報デジタル化に伴い、防災行政無線の内容がフリーダイヤルで聞けます。防犯灯・街路灯の設置推進と補助金の拡充をLED化を促進し補助金の見直しを行います。問 都市建設部関係について。

答 日吉台のメイン道路の日吉台小学校前や七栄交番前の路線など、道路維持補修工事を予定し、必要な箇所についても要望や道路パトロールなどで計画的な補修に努めてまいります。問 健康福祉部関係について。

答 新たに富里第一小学校と浩養小学校に学童クラブを設置するための事業費を計上いたしました。安心して子育てができるよう、新規事業として、ファミリーサポートセンターの事業費を計上いたしました。

問 安心して子育てができるよう、新規事業として、ファミリーサポートセンターの事業費を計上いたしました。

算数・社会科のデジタル教科書を導入しておりますが、デジタル教科書についても検討してまいります。



(資料:平成23年度(第4回)地域公共交通会議) 市民の足 実現へ

【問】東京湾北部直下地震、千葉県東方沖地震と、本県には大きな地震発生の可能性が言われています。これらの巨大地震が発生した場合、本市は多大な被害が予想され、これに本市はどう対処するのかお伺いいたします。①市行政として、備蓄の必要量と、現実のところはどうなっていますか。②市内業者との防災協定は。③市民に求める自己備蓄について。【答】災害予防計画で公的備蓄については食料と飲料水は、対象人口を二、三〇〇人の二日分を供給できるように考えて、アルファ米、缶入りパン、飲料水とも、目標量を達成しています。備蓄倉庫は、避難所となる学校に整備し食料や飲料水のほか発電機付投光器、救助工具や救急セット等整備します。また平成24年度には、車椅子対応型の組み立て式トイレや、女性の着がえに考慮した折りたたみ式プライベートルームなどの整備を予定しています。今後も女性や高齢者・障害者など、災害時要援護者のための、必要な物資等の充実に努めます。②市内業者との協定につきましては、商業促進協議会・管工事事業協同組合等の関係六社と協定を締結しています。③市民に求める自己備蓄は、食料・飲料水は約三日分を目標としています。市民に非常用食料・飲料水・生活必需品の備蓄をするよう、広報紙等で周知を図ります。

【問】ひとり暮らしの高齢者、障害者などの方で他に協力を得られない場合条件が異なりますが、戸別収集のごみ出し支援ができませんか。我孫子市、野田市、四街道市では既に始めています。【答】見極めて決定します。【環境について】成田市のほうに可燃ごみは搬入するようになりませんが、生ごみの減量をすれば負担も少なくなります。富里では一八年前から生ごみを堆肥化する活動をしてきた団体があります。協働のまちづくり条例も制定されているので、市も協働で進め、取りかかるとは思っています。【観光について】酒々井インターができて、バイパスもでき、市の土地一五町歩もありそこに駐車場をつくり、新橋にある観音堂、お大師様、お地藏様、ドウロク神様、神社、天上海道、チャノキの池を線で結び、野菜などの販売所をつくり、ふるさとを散策できるようにすることは考えられないか。【答】観光の振興を模索してまいります。

【問】国の子ども子育て新システムは、児童福祉法24条に基づく現行保育制度を別のもので変え市町村の責任をなくし、父母が自分で保育所を確保し、施設と直接契約することです。経済的困難の家庭、障害のある子どもなど、保育・福祉を必要とする人には入所が大変困難になります。【答】今の段階では案が示されれば、あつせん、契約補助をし利用の関与をすることになっています。【問】保育料は所得ではなく利用に依じた負担とし、ほかに実費徴収や上乗せ徴収も認められるなど負担がふえ、保育所間の格差が出てくるものと考えられます。【答】市が行っている保育料の決定などについては、今後明確になります。【問】国は幼稚園と保育所を一体化すれば待機児童解消できるとしているが、入所希望が多いのはゼロ〜二歳です。給食施設整備など多くの課題があり、受け入れは簡単ではないと考えます。国は、運営費等も削減し市町村に超過負担を強め施設運営も厳しいのが現状と考えます。幼稚園保育園一堂に会し協議したことがありませんか。【答】平成21年に子育て支援課と教育委員会内部で検討したことがあるが具体的には進んでいません。【問】新制度は、財源、面積基準、保育士の配置基準が下げられます。待機児童解消、子供の安全、安心のため現行制度を基盤に財源保障と拡充を求めるべきです。【答】やるべき役割をやっています。

【市職員の退職金運用制度に問題あり】富里市職員の退職金積立金を「千葉県市町村総合事務組合」に預け運用委託していますが、負担額と支給額のバランスが悪く、現在富里市の累積収支がプラス二二億円とあまりに高額です。このお金を貯めておくだけでなく、市のために有効に活用すべきです。また他の加入市町村との格差が大きく、不平等な仕組みに問題があります。至急制度の見直しを組合へ要望すべきです。【答】確かに累積収支が高額であり問題と感じています。平成29年に制度の見直しを予定しており検討してまいります。【福祉計画の具体策が乏しい】市の福祉政策、特に介護予防などの高齢者福祉は大事です。4月から施行される地域福祉活動計画の中で具体的な行動計画が希薄と考えます。【答】庁内各部署にて具体的な目標を設定し、社会福祉協議会との連携を強化しつつ、計画の進捗を定期的に検証していきます。【システムの故障は再発防止徹底を】今年1月30日に発生したシステム障害の原因と損害、再発防止策について。【答】現在復旧しておりますが、システムの総点検をして再発防止を徹底します。【京成成田駅にエレベーター設置を】京成成田駅東口にエレベーター設置のニーズが高まっています。成田市へ働きかけるべきでは。【答】京成成田駅は市民も多く利用し、今後の高齢化対策においても重要な基盤整備であると認識しています。



大川原きみ子

【問】市民生活に密着した公共交通網について

【答】アンケート結果と今後の考え方は。無作為に抽出した三、〇〇〇人の市民を対象に実施し、回答票一、二二二票でした。基本的な考え方の案として、さとバスを基本とした交通網により、酒々井駅・八街駅への接続を目指します。また、成田駅への接続はさとバスと路線バスとの乗り継ぎも向上させます。デマンド運行の運行形態も含め今後見直しを行っていきます。



佐藤繁夫

【問】防災備蓄はどうなっていますか

【答】市としての目標は達成しています。



高橋益枝

【問】ひとり暮らしの方の可燃ごみ戸別収集について

【答】見極めて決定します。



柏崎のり子

【問】子育て新システムは待機児童解消につながるか

【答】国の案が示されれば、あつせん、契約補助をし利用の関与をすることになっています。



井上康

【問】新規に策定された地域福祉計画の具体的手順は

【答】担当部署にて具体的な目標を設定し実施します。

五十嵐博文



産業振興基本条例は、農工商の底上げとなるが

平成26年度の条例化に向け、作業に入ります

『都市計画について』

現在の用途地域の変更については、答権限委譲により、4月1日から富里市の決定となることから、見直しの必要性について検討します。

『給食センターについて』

給食残菜の処理に年間約五〇〇万円前後の経費がかかるが、富里市環境基本計画及び食品リサイクル法をどうとらえているか。

答大変重要と認識しています。再利用化・減量化について前向きに検討します。

『市民図書室（浩養小学校内）について』

現在の運営は、利用者の大半が浩養小学校の児童であるが、学校と連携するなど改善することで、他の学区の方々も利用できるのでは。現在の状況は、南部地区に不公平を生じているが。

答アンケート結果も踏まえ、図書館利用の促進に向け検討課題とします。

『洗心小学校について』

小規模特認校制度は、平成24年度までだが、以降については、答統廃合について検討しているところであり、結論は出ていません。

問地域性を重んじているという一方、複式になった場合、統廃合もやむをえないと発言。しかし、在り方検討委員会を設置した以上、責任は重大であり、積極的に協議すべきである。

答平成17年度から在り方検討委員会です。統廃合はしなければと思っ

高橋祐子



不育症に対するへパリン注射の広報を要望

HPや広報紙で積極的に周知に努めます

問1月から保険適応になったへパリン注射の近隣医療機関での実施状況や周知は、答まだないが、今後は対応が可能になりますので、最新情報を提供していきます。

問妊婦健診や子宮頸がんワクチン接種等基金事業を国は現在、補正対応としていますが、当初予算化し確定するべきでは、答国にしっかりと申し入れていきます。

問万一、事業廃止の場合の市の対応は、答事業は継続していきたいと思

『教育について』

問市が推進する「英会話の日」など英語政策の事業評価が必要と思

答今までも何もしていません。今後は検討してまいりたいと思

問リライト教材の使用の見直しは、答鈴鹿市と連絡をとって協議していき

『検討事項の経過について』

問女性特有検診へ助成充実を要望

答子宮頸がん検診の細胞診検査とHPV検査との併用について関係機関と協議を進めているところ

問災害時相互応援協定を早期締結

答必要性は十分認識しており検討

問緊急輸送道路を結ぶ市道の路盤補強は、答接続する大六天交差点の改良等を考慮の上、引き続き検討して

問オリジナルナンバーを導入して欲しい、答市のPRにもなり有効な施策の

窪田 優



給食のセンター方式は自校方式に変更可能か

自校方式での対応は考えておりません

問給食センターの進捗状況について、答第二調理場の敷地を拡張する、

問給食の自校方式について、答メリットは認識して

問戦後の日本は経済第一主義、近代化が幸せにつながると考えて効率重視

問被災を経験してですが、今さらと言われるかも

答教育委員会が決定

問給食自校方式について、私は平成17年当時の教育福祉常任委員会

問手伝いを通じて嫌いだったインゲンが食べられるようになった話、残飯

問平成21年12月に学校給食自校方式・センター方式比較検討

委員会

お詫びと訂正 平成24年2月1日発行の第173号表紙掲載の「12月定例会の採決結果」表に誤りがありました。お詫びして、次のとおり訂正いたします。

Table with columns for agenda items, approval status, and member names. It shows a correction of the voting results for the 12th regular meeting.

議会を傍聴しませんか

6月定例会は5月31日(木)から開会予定です。

※詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。 ※本会議の様子は市民課ロビー(市庁舎一階)のテレビでもご覧いただくことができます。

ご意見・ご感想をお寄せください!

議会報を読んで感じたことなど、皆様のご意見をお待ちしております。また、議会報は市議会ホームページでもご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄 652-1 議会事務局 TEL. 0476-93-6492 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス http://www.city.tomisato.lg.jp/category/2-3-0-0-0.html

編集後記

昨年の東日本大震災から一年が過ぎましたが、被災地の復興の遅れが気になります。私たちが、五年、一〇年と長い期間、支援を続けていく気持ち、持ち続けることが必要だと思

(委員 田口 勝一 記)